

2019

概要



体験の風を
おこそう



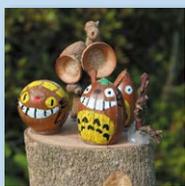
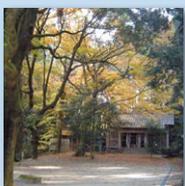
独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立夜須高原青少年自然の家

「満天の星 夜須高原」



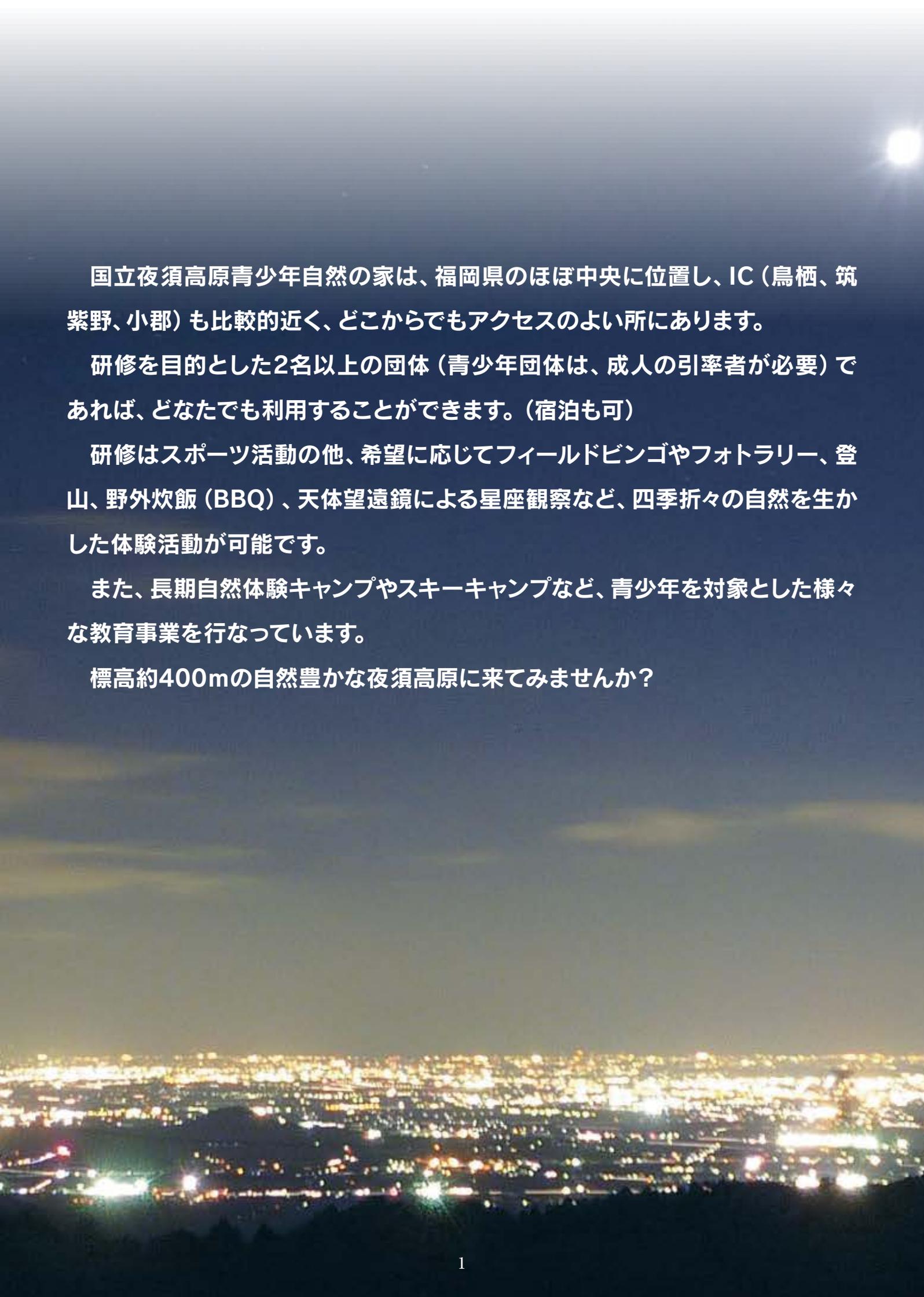
目次

- 概要 1
- エリアマップ 2
- 施設紹介 3~5
- 活動プログラム紹介 6~7
- 利用にあたって 8~9
- 平成30年度教育事業等実績概要 10~11
- 令和元年度教育事業等一覧 12~13
- 沿革 14
- 施設業務運営委員会委員 組織 15
- 平成30年度利用実績 16
- アクセスマップ 17



やすこうげん
きずしんじや





国立夜須高原青少年自然の家は、福岡県のほぼ中央に位置し、IC（鳥栖、筑紫野、小郡）も比較的近く、どこからでもアクセスのよい所にあります。

研修を目的とした2名以上の団体（青少年団体は、成人の引率者が必要）であれば、どなたでも利用することができます。（宿泊も可）

研修はスポーツ活動の他、希望に応じてフィールドビンゴやフォトラリー、登山、野外炊飯（BBQ）、天体望遠鏡による星座観察など、四季折々の自然を生かした体験活動が可能です。

また、長期自然体験キャンプやスキーキャンプなど、青少年を対象とした様々な教育事業を行なっています。

標高約400mの自然豊かな夜須高原に来てみませんか？

エリアマップ



①多目的コート



②本館入口



③草スキー場



④野外炊飯場(管理棟横)



⑤第5炊飯場
第2キャンプファイアー場



⑥つどいの広場



⑦第1キャンプファイアー場



⑧運動広場(75m×35m)

施設紹介①



ラーニングルーム4



ラーニングルーム2



レストラン



大浴室



プレイホール



【サービスゾーン・ライフゾーン】

- 事務室 ●保健室(2床)
- ラーニングルーム1(研修室 36人) ●ラーニングルーム2(研修室 81人)
- ラーニングルーム3(研修室 81人) ●ラーニングルーム4(研修室 120人)
- レストラン「やす高原」(238人 バイキング形式) ●売店
- 大浴室(100人) ●小浴室(50人) ●洗濯室(洗濯機3台) ●乾燥室 ●リネン室
- プレイホール(各種スポーツ、レクリエーション等)(バスケットコート2面)

施設紹介②



宿泊室(ひよどり①)



宿泊室(ひよどり和室)



みずほ和室



あさかぜ④



【宿泊棟】()は各宿泊室のベッド数

- ドリームA：うぐいす(24)、かつこう(20)、ひよどり(20)、めじろ(24)、身障者用浴室
- ドリームB：あさかぜ(48)、すいせい(48)、みずほ(48)

施設紹介③

ロッジA

1F: トイレ(女性), 洗面所, トイレ(男性), ロッジA②, ロッジA和室, ロッジA①, 2段ベッド

3F: ロッジA R, ロッジA④, ロッジA③, 玄関

ロッジB

1F: トイレ(男性), 洗面所, トイレ(女性), ロッジB和室, ロッジB①, ロッジB②, 2段ベッド

2F: ロッジB③, ロッジB R, ロッジB④



展示室



ラーニングルーム5



レクリエーションルーム



天体望遠鏡



観察スペース



ミニプラネタリウム



ラーニングルーム7



ラーニングルーム8~10
(1室として利用の場合)



【宿泊棟】()は各宿泊室のベッド数
●ロッジA(48) ●ロッジB(48)

【研修棟】

- ディスカバリーハウス(多目的研修棟)
 - ・創作室(50人) ・展示室(12m×11m) ・ラーニングルーム5(研修室 192人) ・和室(10畳) ・レクリエーションルーム(約8m×17m)
- スタードーム(天体観測棟)
 - ・ラーニングルーム6(研修室 54人) ・展示室(45人) ミニプラネタリウム) ・観測室(200mm天体望遠鏡)

【研修棟】

- エクспанションハウス(自然環境教育棟)
 - ・ラーニングルーム7(研修室 102人) ・ラーニングルーム 8(研修室 10人)
 - ・ラーニングルーム9(研修室 10人) ・ラーニングルーム10(研修室 10人) (ラーニングルーム8~10は、合わせて1室としても利用可能)
 - ・太陽光発電システム、表示パネル ・フリースペース

活動プログラム紹介

フィールド活動・登山・ハイキング

- フィールドビンゴ
- ウォークラリー
- オリエンテーリング
- フォトラリー
- 五玉神社のなぞを解け
- 大根地山登山
- 秋月ハイキング
- ナイトハイキング
- テント泊 など



五玉神社のなぞを解け



ナイトハイキング



大根地山登山 (山頂)



テント設営

野外調理

- 野外炊飯
(カレー・ピザ・パエリアなど)
- バーベキュー
- もちつき など



野外炊飯 (カレー)



もちつき

水辺活動(夏季のみ)

- 溪流遊び ○川遊び など



川遊び

降雪時の活動

- 雪ソリ ○スノーシュー体験 など



雪ソリ

レクリエーション活動

- キャンプファイヤー
- キャンドルのつどい
- 林間ボブスレー
- 草スキー
- ニュースポーツ など



キャンプファイヤー



林間ボブスレー



キャンドルのつどい



ニュースポーツ (キンボール)

学習活動 (文化的活動)

- 天体観察
(口径200mm屈折天体望遠鏡)
- 星座・星空観察
- 自然観察
- 絵本読み聞かせ
(ビッグブックなど)
- DVD鑑賞
- 講演会
- 書道
- 絵画
- 吹奏楽 など



天体観測 (月・土星・木星など)

スポーツ (プレイホール)

- 剣道
- バレーボール
- バスケットボール など



剣道

クラフト(創作)活動

焼き杉
(コースター)

押し花パウチ

プラホビー



杉皿アート

竹とんぼ

焼き杉 (表札)



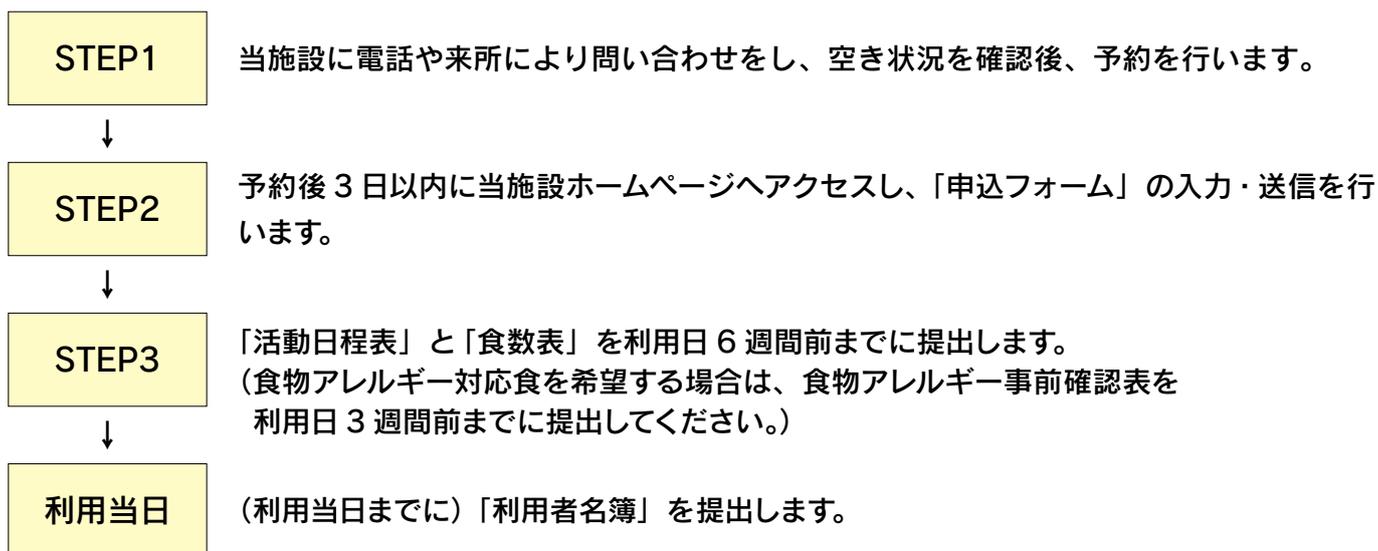
焼き杉 (コースター)

利用にあたって

当施設は、研修計画を持つ2名以上の団体（家族も含む）であれば、どなたでも利用することができます。
※ただし、青少年団体の場合は引率者が必要です。

なお、特定の政党を支持する活動や宗教的活動の他、もっぱら営利を目的とした活動を行う団体または研修を目的としない団体は利用することができません。

〈申込方法〉



〈費用〉

施設使用料 ※1	無料
シーツ等洗濯料	300円

※1 施設使用料は、学校その他の教育機関や青少年及び青少年教育関係者による研修等での利用に該当しない「一般利用」の場合、1人1泊800円となります。

〈食費〉

レストラン食	朝食	昼食	夕食	合計
中学生以上	400円	540円	710円	1,650円
小学生	390円	530円	690円	1,610円
未就学児(3歳以上)	270円	400円	560円	1,230円

○レストラン食の他、各種弁当、軽食等もございます。



野外調理材料

メニュー	数量	価格	メニュー	数量	価格
味噌汁セット 手作りパンセット	1セット (6人分)	2,040円	ホットドッグセット	1人分	340円
ビーフカレーセット 焼きそばライスセット 焼きそばパンセット ピザセット パエリアセット	1セット (6人分)	2,970円	バーベキューAセット	1セット(6人分)	5,160円
ディナーカレーセット 豚汁セット 水炊き鍋セット	1セット (6人分)	3,840円	バーベキューBセット	1セット(6人分)	9,270円
			あんこもちセット	1セット(20人分)	3,100円
			雑煮セット	1セット(20人分)	4,200円
			野外調理・杉板用まき	1束(6人分)	380円
			バーベキュー用木炭	1箱(3kg・6人分)	420円

○メニューは1セット6人分が基本です。端数がある場合に限り1/2セット(3人分)ができます。

○バーベキューセットに含まれる米については、炊いた状態での提供も可能ですが、その場合は燃料費として1セットにつき380円をいただきます。

○クレンザー(1本240円)、お茶パック(1パック30円)を売店で販売しております。

クラフト教材

〈焼き杉(表札)〉

品名	内容	料金
焼き板セット	1セット(焼き板・ひも・金具・ペーパー)	240円
杉板セット	1セット(杉板・ひも・金具・ペーパー) (別途、まきの購入が必要(20セットにつき1束が目安))	165円
カラーペイント(1色)	赤・青・黄・白・緑・ピンクのうち1色(2~4人分)	180円
カラーペイント(4色)	赤・青・黄・白	720円
カラーペイント(6色)	赤・青・黄・白・緑・ピンク	1,080円

〈焼き杉(コースター)〉

品名	内容	料金
丸太	1本1メートル	360円

〈杉皿アート〉

品名	内容	料金
杉皿	1枚(直径21cm)	40円

〈プラホビー〉

品名	内容	料金
プラ板(B4)	1枚(6~8人分)	180円
キーホルダー		45円
マジック	1本(赤・青・緑・紫・オレンジ・黒のうち1色)	140円

〈押し花パウチ〉

品名	内容	料金
パウチフィルム(小)	1枚(名刺サイズ)	35円
パウチフィルム(大)	1枚(10cm×12cm)	50円
パウチ用台紙(B4)	白・水色・黄色・ピンク・ベージュのうち1色(パウチフィルム小で約15枚分、パウチフィルム大で約5枚分)	65円

〈竹とんぼ〉

品名	内容	料金
竹とんぼセット	羽根1枚・軸1本	220円

キャンプファイヤー

品名	内容	料金
キャンプファイヤー用まき (灯油付)	1セット(丸太12本、まき4束、灯油1リットル)	6,000円
	1/2セット(丸太6本、まき2束、灯油0.5リットル)	3,000円

※上記の他、各種活動で使用する貸出物品を多数取り揃えています。(費用は無料です。)

詳しくは当施設ホームページ (<http://yasu.niye.go.jp/>) に掲載しています。

平成30年度教育事業等実績概要

夜須高原長期チャレンジキャンプ ～海・川・山の自然を体感！自分にチャレンジ！～



【期間】
平成30年8月12日(日)～
8月19日(日)〈7泊8日〉
【対象】
小学校5・6年生、中学生

子供達がSNSやゲーム、テレビ等のメディアに依存した生活から離れ、日常生活では体験することが少ない、長期にわたるテント泊、野外炊飯(炊)、海洋スポーツ(カヌー、ヨット)、世界遺産巡りサイクリング、登山などの自然体験活動を通して、「自然を体感する」「自分自身に挑戦する」ことをねらいとしたキャンプです。最終日の体験スピーチ会では、「これから人とのかかわり方を大切にしたい」「いろいろな体験をすることで自分に自信が持てました」「周りの人の気持ちを考えて、自分が今その人にどう接すればいいかを自然に考えられるようになった」といった感想がありました。スタッフ、学生ボランティア、参加者の全員が、お互いに励まし合いながら成功させたキャンプでした。

児童養護施設で暮らす子供たちのための自然体験活動プログラム開発事業 ～サマーチャレンジキャンプin大島～



【期間】
平成30年8月8日(水)～
10日(金)〈2泊3日〉
【対象】
里親の元で暮らす児童、
児童養護施設で暮らす児童

児童養護施設で暮らす子供達が、大島の海や山のフィールドを活用した体験活動やテント等の集団宿泊体験を通して、成就感やコミュニケーション能力の高まりを実感させ、キャンプ後の施設生活で自信をもって生活ができるような活動プログラムを開発するための事業です。海水浴や野外炊事、魚釣り、お乗船体験や買い物体験、登山、テント泊などに取り組み、2施設の子供達が互いにコミュニケーションをとり、協力しながら楽しく活動することができました。

児童養護施設等で暮らす子供たちのための生活・自立支援キャンプ①②③ ～夜須高原マイチャレンジキャンプ～



【期間】
平成30年5月26日(土)～
27日(日)〈1泊2日〉
平成30年10月27日(土)〈日帰り〉
【対象】
里親の元で暮らす児童、
児童養護施設で暮らす児童

野外炊事や田植え体験、芋掘り体験等、仲間と協力して活動しました。農業体験では田植えを行い、収穫祭では、自分たちが植えた作物の生長に気づくとともに、収穫の喜びや苦労などを体感することができました。その後の野外炊飯では、カレーを作り、自然の恵みに感謝し、食に対する理解(食育)を深めることができました。芋掘り体験では、予想以上の収穫があり、子供達も大変満足そうでした。

ひとり親家庭の親子のための生活・自立支援キャンプ① ～夜須高原スマイルライフキャンプ～



【期間】
平成30年10月13日(土)～
10月14日(日)〈1泊2日〉
【対象】
一般財団法人北九州市母子寡婦
福祉会会員

北九州市母子寡婦福祉会と連携を図り、親子でふれあひながら、さまざまな体験活動ができるプログラムを実施しました。プチテント泊体験、ハイキング、竹ランタン作り、野外炊事、林間ボスレーや人工芝スキー等、親子同士の交流を深めることができました。また、母親同士で子育てに関する現状や悩み、家庭で大切にしていることを共有し合い、互いに学びを深め、ネットワークづくりも行うことができました。

ひとり親家庭の親子のための生活・自立支援キャンプ② ～夜須高原オータムラーニングキャンプ～



【期間】
平成30年11月3日(土)～
11月4日(日)〈1泊2日〉
【対象】
福岡県母子寡婦福祉連合会会員

県母子寡婦福祉連合会が実施している「学習支援事業」を活用して、学習支援ボランティアの先生方にも多数参加していただき、じっくりときめ細やかに学習に取り組みする体制を整えました。また、夜は天体観望やナイトハイキング、2日目は林間ボスレーを取り入れることで、参加者同士が楽しみながら交流を深めることができました。

夜須高原・県内青少年教育施設合同ボランティア養成研修



【期間】
平成30年6月2日(土)～
平成30年6月3日(日)
【対象】
大学生・一般

ボランティア養成カリキュラムのもと、3つの県立青少年教育施設と合同でボランティア養成研修を開催しました。4施設で企画することで、研修内容が充実し、参加者に対してボランティア活動についての基本的な知識や技能の習得を図るだけでなく、研修を通して施設職員と参加者との交流も図ることができました。

自然体験活動指導者(NEARリーダー)養成事業



【期間】
平成30年11月23日(金)～25日(日)
(2泊3日)
【対象】
・平成30年度夜須高原ボランティア養成講座受講者
・青少年教育関係者、学校教育関係者、
自然体験活動に興味・関心のある方
(18歳以上)

全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子供の発達段階に応じて安全に指導ができる自然体験活動指導者(NEARリーダー)を養成します。講師をお迎えして、講義・実習「自然体験活動の技術」「自然体験活動の特質」「自然体験活動の指導」「対象者理解」を行いました。参加者からは、「一つ一つの体験がとても新鮮で、もっと早く知りたかったというものはかりでした」「このような自然体験活動に参加し、様々な知識を取り入れることができ、本当に貴重な経験になりました」といった感想がありました。

平成30年度「教員免許状更新講習」 ～学習指導・学級経営に生かす体験活動～



【期間】
平成31年3月9日(土)～
3月10日(日)〈1泊2日〉
【対象】
教諭(主な受講対象者:小・中学校教諭)

教員が体験活動の意義について理解するとともに、児童・生徒の集団宿泊活動を効果的に実施するための基本的な知識や技能を身につける講習です。1泊2日の日程で選択18単位の受講終了が可能です。講義・実習においては理論と実践をバランスよく取り入れ、参加された先生方にも体験活動の効果を実感していただきました。

「自然を活用した幼児期の運動プログラム」 童話キャンプ



【期間】
平成30年10月14日(日)～
平成31年2月24日(日)※随時
【対象】
幼児とその家族

絵本の読み聞かせ、絵本の内容に即したクラフト・調理活動、森の探検の3本の活動を軸に幼児とその家族を対象とした自然体験活動を行い、「36の基本的な動き」を取り入れた活動を通して幼児期の体力・運動能力の基礎を培い、さらに幼児や保護者間の交流を行うことをねらいとした事業です。「友達作りが苦手、親として内心不安だったが、同年代の子供とあんなに仲良く遊んでいる姿を見て不安がなくなった」「親の知らない顔、知らないところでの逞しい姿を写真で振り返ることができ、いつのまにか社会性を身に付けていっているんだなあと感じました。成長できていないのは親の方かもしれません」といった感想がありました。

夜須高原ウインターファミリーキャンプ ～夜須高原ミステリーツアー～



【期間】
平成31年2月9日(土)～
2月10日(日)〈1泊2日〉
【対象】
幼児・小学生・中学生とその家族

冬の自然豊かな夜須高原で、各テーマの創作活動・体験活動を通して、自然への関心・興味を深めるとともに、親子の絆や参加者同士の交流を深め、子供達の主体性を育むことをねらいとした事業です。キャンドルやスチロールグライダー、ピルカイトやすべらップ作り、炭作りやたき火、薪割り体験、ナイトハイクやミステリーラリーなどを行いました。家族とともに活動することをおして、自然体験や創作活動でコミュニケーションが増えるとともに、その良さを共有することができたのではないかと思います。

夜須高原スキーキャンプ



【期間】
第1回 平成30年11月24日(土)～25日(日)〈1泊2日〉
第2回 平成30年12月8日(土)～9日(日)〈1泊2日〉
第3回 平成30年12月22日(土)～23日(日)〈1泊2日〉
第4回 平成31年1月13日(日)～14日(月)〈1泊2日〉
第5回 平成31年2月16日(土)～17日(日)〈1泊2日〉
【対象】小学校3～6年生、中学生

福岡県スキー連盟、財団法人サンビレッジ若(人工芝スキー場)、九重青少年の家(大分県立青少年教育施設)、九重森林公園スキー場との連携事業として実施しました。前半2回は飯塚市のサンビレッジ若で人工芝スキー、後半3回は九重森林公園スキー場で雪上スキーに取り組みました。インストラクターによる技術のレベルに合わせた個別指導や夜の理論学習を繰り返し行ったことで、一人一人が自分の課題を意識し、スキーの技術向上につなげていくことができました。また、毎回、生活についてスキーキャンプで学んだことを学校や家庭生活等に生かしていくようふりかえりを行いました。

近隣自治体と連携した小学校通学合宿① ～夜須高原通学合宿～



【期間】
平成31年1月20日(日)～
1月26日(土)〈6泊7日〉
【対象】
筑前町立三並小学校4・5・6年生

下校から登校までの日常生活に関する活動を自然の家で行い、食事、入浴、洗濯、学習、班別活動を班の仲間と協力して取り組みました。班活動を通して4・5・6学年の異学年の交流も深め、上級生が下級生の世話をしているところが多いの場面で見られました。子供達は時間を意識して次の活動の準備をしたり、洗濯する時間や洗濯物を干す時間の計画を立てたりして、見通しを持って生活することができるようになりました。オリジナルメニューにチャレンジしたり、最終日には保護者を招き料理をふるまったりするなど、充実した活動となりました。

近隣の自治体と連携した小学校通学合宿② ～夜須高原通学合宿～



【期間】
平成31年1月27日(日)～
2月2日(土)〈6泊7日〉
【対象】
飯塚市立上穂波小学校、大分小学校、内野小学校4・5・6年生

学校の登校時間から下校時間までは各学校にて活動し、下校してから登校するまでの日常生活に関する活動(入浴、洗面、掃除、洗濯、自主学習、宿泊等)を夜須高原青少年自然の家で行いました。参加者からは、「早寝早起きができるようになり、5分前行動ができるようになりました」「ここに来る前は、朝ごはんはあまり食べられなかったけど、ここに来てからはたくさん食べられるようになったので良かった」「私はこの一週間で、料理や洗濯や掃除などを学びました。家ではお母さんがやっているので手伝いたいと思います」といった感想がありました。

公立施設と連携した課題を抱える子供の 自立促進プログラム開発事業①



【期間】
平成30年12月4日(火)～
7日(金)〈3泊4日〉
【対象】
適応指導教室に通う生徒

福岡県立少年自然の家「玄海の家」と連携し、ニュースポーツやチャレンジクッキングをしたり、朝倉市に出かけて、柿狩り体験、被災地見学、学習タイム、アイススケート体験等を行いました。キャンプを通して、周囲の人達とスムーズに会話ができるようになったり、自分から積極的に動くことができるようになったりした生徒が多く見られました。また、朝倉の被災地見学では、地元の方にお話を聞く機会をいただきました。自分たちの活動がどのように復興につながるかをしっかりと理解することができたように思います。

公立施設と連携した課題を抱える子供の 自立促進プログラム開発事業②



【期間】
平成31年1月19日(土)～
20日(日)〈1泊2日〉
【対象】
視覚に障害のある児童・生徒

福岡県立少年自然の家「玄海の家」と連携、協力し、立地条件や各施設の特色あるプログラムを生かして、アイスブレイク、レクリエーション、ダンスアーティスト・マニシアさんとパーカッション奏者・DAIさんをお招きしてのダンス体験、「和さ・合い・愛クッキング」といった活動を実施しました。ダンス体験は視覚に障害のある参加者にとって、大きなチャレンジのように思いましたが、ボランティアを含む参加者全員で手をつなぎ、パーカッションの音に乗って体を動かすことができ、大変よい時間を過ごすことができました。

公立施設と連携した課題を抱える子供の 自立促進プログラム開発事業③



【期間】
平成30年12月1日(土)～
2日(日)〈1泊2日〉
【対象】
聴覚に障害のある児童・生徒

福岡県立英彦山青年の家、財団法人サンビレッジ若(人工芝スキー場)と連携、協力し、人工芝スキーや林間ボブスレー体験、杉の木やどんぐり等を使った森の写真立て作り、野外炊事等を行いました。キャンプの中でも、すぐに助けを求めるとはせず、自力で挑戦したり、仲間と相談をしたりしながら、解決を図る姿が見られました。また、準備を含めたこの1泊2日の中で、子ども達の自主性を高めることにつながったのではないかと感じました。最後の振り返りでは、友達のおよきを見つけていた子どももたくさんいました。

令和元年度教育事業等一覧

【教育事業】

種別	No	事業名	事業のねらい
体験事業 長期自然	1	夜須高原長期チャレンジキャンプ	子供たちがSNSやゲーム、テレビ等のメディアに依存した生活から離れ、テント泊、野外炊飯、交流活動などの様々な体験活動を通して、人間関係能力や自己肯定感等を育成するとともに、防災教育や環境学習についても学ぶ場とする。
生活自立支援事業	2	児童養護施設等で暮らす子供たちのための自然体験活動プログラム開発事業 ～サマーチャレンジキャンプ～	日常生活で行う機会が少ない、自然体験や生活体験などの様々な体験活動を通して、集団生活における生活リズムの確立や仲間と協力する。 また、班で話し合い行動する機会を通して、自己肯定感や社会性を高める。
	3	児童養護施設等で暮らす子供たちのための生活・自立支援キャンプ①②③ ～夜須高原マイ・チャレンジキャンプ～	日常生活で行う機会が少ない、農業体験やテント生活、野外炊飯などの様々な体験活動を通して、自己肯定感や社会性を高める。 また、農業体験を通して、職業教育・食育に関心をもちさせる。
	4	ひとり親家庭の親子のための生活・自立支援キャンプ① ～夜須高原スマイルライフキャンプ～	ひとり親家庭の生活の向上に寄与するため、様々な自然体験活動・生活体験活動を通してコミュニケーション能力、自立心、協調性、自己肯定感の向上等とともに生活習慣のさらなる向上を図る機会とする。
	5	ひとり親家庭の親子のための生活・自立支援キャンプ② ～夜須高原オータムラーニングキャンプ～	ひとり親家庭の生活の向上に寄与するため、学習を中心に、学力の向上を図るとともに生活体験活動を通して、生活習慣の向上を図る機会とする。 また、保護者同士の交流を通して、今後の進路等の情報を共有する。
	指導者養成事業	6	自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成事業
7		教員免許状更新講習	体験活動の意義等を理解するとともに、児童・生徒の宿泊体験活動を効果的に実施するための基本的な体験活動指導技術を実習を通して身につける。また、学習指導要領における体験活動の取扱いを理解し、教育課程の編成や教育活動に体験活動を取り入れる方法を講義や実習を通して習得する。
普及啓発事業	8	青少年教育施設合同ボランティア養成研修	青少年教育施設における今日的な役割を理解し、子供たちの体験活動を支援するボランティア活動について、基本的な知識や技能を習得するとともに、施設ボランティアとしての資質や能力の向上を図る。また、研修を通して参加者の交流を図る。
	9	夜須高原幼児キャンプ	自然豊かな夜須高原で、主に幼児やその家族を中心に、体験活動を通して、夜須高原の四季を体感するとともに、親子の絆や参加者同士の交流を深め、子供たちの社会性を育む。
	10	夜須高原オータムファミリーキャンプ	秋の自然豊かな夜須高原で、主に幼児期の遊びを中心とした、プログラムや自然散策・天体観察・創作活動等様々な体験活動を通して、親子の絆を深めるとともに、参加者同士の交流を深め、子供達の社会性を育む。
	11	夜須高原ウィンターファミリーキャンプ	冬の自然豊かな夜須高原で、主に幼児期の遊びを中心とした、体験活動を通して、親子の絆を深めるとともに、参加者同士の交流を深め、子供達の社会性を育む。
	12	夜須高原スキーキャンプ (全5回)	雪上でスキーに挑戦したりする活動を通して、自然の醍醐味を味わい、仲間とともに切磋琢磨し、自己効力感やコミュニケーション能力を高める。 また、社会教育施設を利用することで、規則正しい生活習慣を身に付ける。
	13	遊びリンピック	「体験の風をおこそう推進月間」の中心的な行事として、子供や保護者を対象に、自然体験や生活体験等の楽しさや達成感を実感してもらうとともに、体験活動推進の機運を全国的に高めることを目的として、様々な「競技性のある体験活動」を実施する。
地域連携事業	14	近隣自治体と連携した小学校通学合宿 ～夜須高原通学合宿～ ①三並小 ②内野小・大分小・上穂波小合同	家庭から離れた共同生活の中で、様々な生活体験活動をとおして、子供たちの自主性や協調性、耐性等の「生きる力」の基盤となる豊かな人間性や人間関係能力を高める。 また、「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムの定着を図る。
	15	公立施設と連携した課題を抱える子供の自立促進プログラム開発事業 ①玄海（適応指導） ②玄海（視覚） ③英彦山（聴覚）	公立社会教育施設と連携して、課題を抱える児童・生徒の自立と保護者のネットワークづくりを目指したプログラムの開発を行う。

【その他】

種別	No	事業名	事業のねらい
	1	(筑前町主体の実行委員会主催) ど～んとかがし祭	町をあげての一大行事に、「体験の風をおこそう」運動の一環として、自然の家ならではの体験活動ブースを出展し、体験活動に親しむ機会を提供する。
	2	(サンビレッジ茜主催) 茜まつり	近隣にある人工芝スキー場（サンビレッジ茜）で春と秋に行われるイベントにて、自然の家ならではの体験活動ブースを出展し、体験活動に親しむ機会を提供する。

期 間	対 象	募集人数(人)	備考・共催(連携・協力)
8月12日(月)～8月20日(火)(8泊9日)	小学校5・6年生、中学生	24	
8月10日(土)～12日(月)(2泊3日)	児童養護施設等で暮らす児童	40	(共催) 福岡県立少年自然の家「玄海の家」 (連携機関) 児童養護施設「洗心寮」 児童養護施設「聖華園」 児童養護施設「古処学園」 児童養護施設「ひばりが丘学園」
①6月1日(土)～2日(日)(1泊2日) ②10月5日(土)～6日(日)(1泊2日) ③10月26日(土)(日帰り)	児童養護施設等で暮らす児童	40	(連携機関) 児童養護施設「洗心寮」 児童養護施設「聖華園」 児童養護施設「古処学園」 児童養護施設「ひばりが丘学園」
10月19日(土)～10月20日(日)(1泊2日)	北九州市母子寡婦福祉会会員 ※親子で参加	50	(連携機関) 北九州市母子寡婦福祉会
10月19日(土)～10月20日(日)(1泊2日)	福岡県母子寡婦福祉連合会会員 ※親子で参加	50	(連携機関) 福岡県母子寡婦福祉連合会
1月11日(土)～13日(月)(2泊3日)	大学生、一般	20	
3月7日(土)～8日(日)(1泊2日)	小・中学校教諭 (特別支援学校教諭も可) ※養護教諭は不可	50	選択領域18時間の履修
6月15日(土)～16日(日)(1泊2日)	高校生、大学生、一般	50	(主催) 福岡県・佐賀県「体験の風をおこそう」 運動推進実行委員会 (共催) 福岡県立社会教育総合センター 福岡県立英彦山青年の家 福岡県立少年自然の家「玄海の家」
日帰り:月1回程度(通年) 宿泊:年1～2回	幼児、及びその保護者	40	(主催) 福岡県・佐賀県「体験の風をおこそう」 運動推進実行委員会 (共催) 国立青少年教育振興機構法人ボランティア
11月9日(土)～10日(日)(1泊2日)	幼児、小学生及びその保護者	200	(主催) 福岡県・佐賀県「体験の風をおこそう」 運動推進実行委員会
2月8日(土)～9日(日)(1泊2日)	幼児、小学生及びその保護者	200	(主催) 福岡県・佐賀県「体験の風をおこそう」 運動推進実行委員会
①11月2日(土)～3日(日)(1泊2日) ②11月16日(土)～17日(日)(1泊2日) ③12月7日(土)～8日(日)(1泊2日) ④12月23日(月)～24日(火)(1泊2日) ⑤1月12日(日)～13日(月)(1泊2日)	小学校3～6年生、中学生	40	(主催) ①②③④福岡県・佐賀県 「体験の風をおこそう」運動推進実行委員会 ⑤国立夜須高原青少年自然の家 (共催) サンビレッジ茜 福岡県スキー連盟
①10月12日(土)統一イベントデー ②随時(通年)	幼児、小学生、中学生		
①1月19日(日)～25日(土)(6泊7日) ②1月26日(日)～2月1日(土)6泊7日)	①筑前町立三並小学校 ②飯塚市立3小学校(4～6年生)	①30 ②30	
①玄海(適応指導) 12月3日(火)～6日(金)(3泊4日) ②玄海(視覚) 1月18日(土)～19日(日)(1泊2日) ③英彦山(聴覚) 11月23日(土)～24日(日)(1泊2日)	①適応指導教室等に通っている中学生 ②視覚に障害のある児童・生徒とその家族 ③聴覚に障害のある児童・生徒とその家族	①24 ②20 ③40	(連携機関) 福岡県立少年自然の家「玄海の家」 福岡県立英彦山青年の家

期 間	対 象	募集人数(人)	備考・共催(連携・協力)
11月3日(日)	幼児・小学生を含む家族及びそのグループ	自然の家ブース 500	
5月3日(金祝)・5月4日(土祝) 10月5日(土)・10月6日(日)	幼児・小学生を含む家族及びそのグループ	自然の家ブース 1,200	

沿革

- 昭和62(1987)年10月 文部省内に「国立夜須高原少年自然の家(仮称)設立準備室」を開設
準備室長に加藤雅晴 就任
- 昭和63(1988)年 4月 「文部省設置法施行規則の一部を改正する省令」
(昭和63年文部省令第12号)により
「国立夜須高原少年自然の家」機関設置
初代所長に加藤雅晴 就任
- 昭和63(1988)年 9月 中島源太郎文部大臣を迎え開所式を挙行
- 昭和63(1988)年 9月 受入事業 開始
- 平成 4(1992)年 5月 第43回全国植樹祭のため天皇皇居両陛下御来所
- 平成 5(1993)年 4月 2代目所長に神岡十三雄 就任
- 平成 7(1995)年10月 3代目所長に廣瀬治勇 就任
- 平成10(1998)年 7月 4代目所長に藤崎博近 就任
- 平成10(1998)年 9月 開所10周年記念式典 挙行
- 平成12(2000)年 4月 5代目所長に藤澤勝好 就任
- 平成13(2001)年 4月 「独立行政法人国立少年自然の家」の施設へ移行
- 平成17(2005)年 4月 6代目所長に西保國 就任
- 平成18(2006)年 4月 「独立行政法人国立青少年教育振興機構」の施設へ移行
併せて「国立夜須高原青少年自然の家」へ名称変更
- 平成20(2008)年11月 開所20周年記念式典 挙行
- 平成21(2009)年 4月 7代目所長に宮野哲美 就任
- 平成26(2014)年 4月 8代目所長に江原滋 就任
- 平成30(2018)年 4月 9代目所長に井上智朗 就任
- 平成30(2018)年11月 開所30周年式典 挙行
- 令和 元(2019)年 5月 延べ利用者数400万人達成

施設業務運営委員会委員

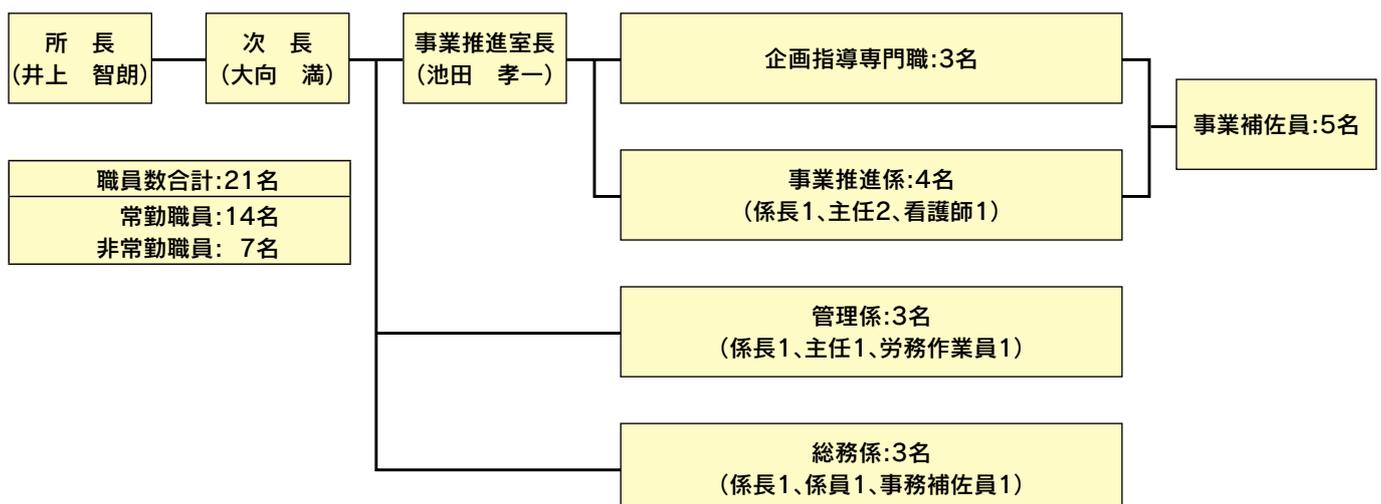
施設業務運営委員会…当施設の業務運営に関する重要事項について外部有識者の意見を聞くための
運営諮問委員会

(令和元年度 五十音順)

氏名	役職等
兄井 彰	福岡教育大学 教育学部 教授
居石 美和子	佐賀県 県民環境部 まなび課 課長
井芹 護利	熊本県教育庁 社会教育課 課長
別府 尚樹	福岡県公立高等学校長協会 副会長
尾上 正史	福岡県私立幼稚園振興協会 会長
富松 文夫	福岡県教育委員会 社会教育課 課長
川原 未絵	福岡県PTA連合会 副会長
横山 太郎	西日本新聞社 朝倉支局 支局長
田頭 喜久己	筑前町長
森本 精造	一般財団法人サンビレッジ茜 理事長
渡邊 正則	福岡県小学校長会 副幹事長
小川 隆弘	福岡県中学校長会 会長

組織

(令和元年5月現在)



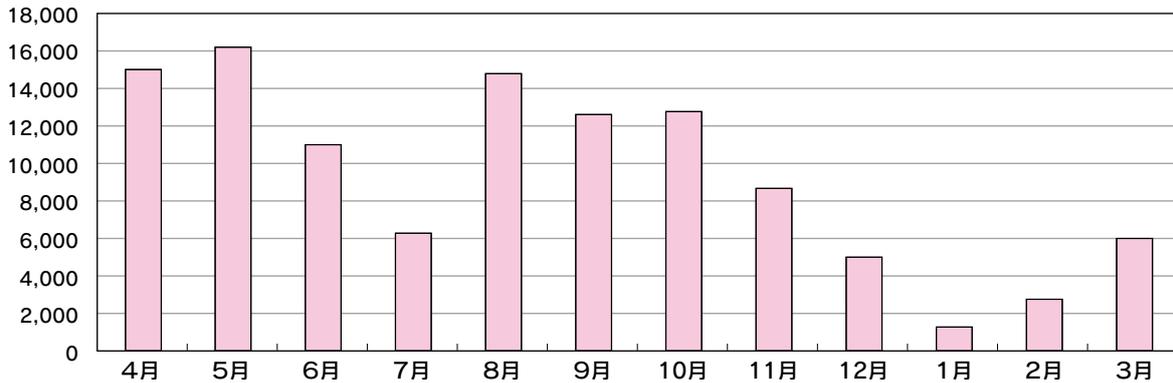
平成30年度利用実績

1. 月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本館	13,306	11,623	10,235	5,560	12,367	11,894	9,459	5,202	3,926	1,003	2,236	5,299	92,110
キャンプ場	72	92	0	253	1,192	171	570	142	43	0	0	89	2,624
日帰り	1,851	4,599	865	397	1,181	637	2,791	3,484	965	255	470	700	18,195
計	15,229	16,314	11,100	6,210	14,740	12,702	12,820	8,828	4,934	1,258	2,706	6,088	112,929

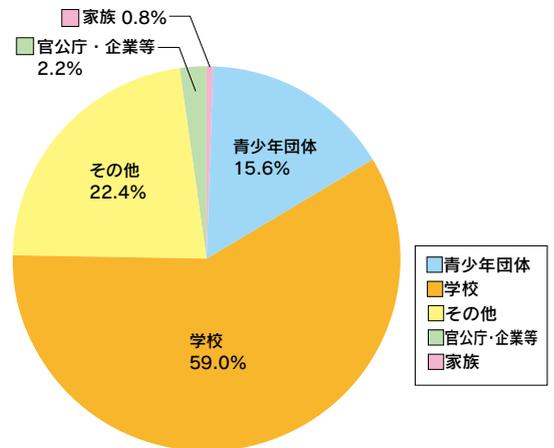
※7月豪雨復旧作業のため、7/8～7/20まで受入休止

平成30年度



2. 団体別利用者数

区 分		利用者数(人)	構成比(%)
青少年団体	国立青少年教育振興機構	13,842	12.3
	公立青少年教育施設等	56	0.0
	青少年活動関係団体等	3,775	3.3
学 校	幼稚園、保育園	4,662	4.1
	小学校	30,450	27.0
	中学校	8,438	7.5
	高等学校	13,876	12.3
	中等教育学校	0	0.0
	大学、短期大学、高等専門学校	5,811	5.1
	専修学校、各種学校	2,842	2.5
	特別支援学校(盲、聾、養護学校)	581	0.5
	その他の学校	0	0.0
	上記以外の教育関係の施設・団体等	6,458	5.7
その他	上記以外の団体・グループ・サークル	18,839	16.7
	官公庁等	508	0.4
官公庁・企業等	企業等	1,930	1.7
	家 族	861	0.8
合 計		112,929	100.00

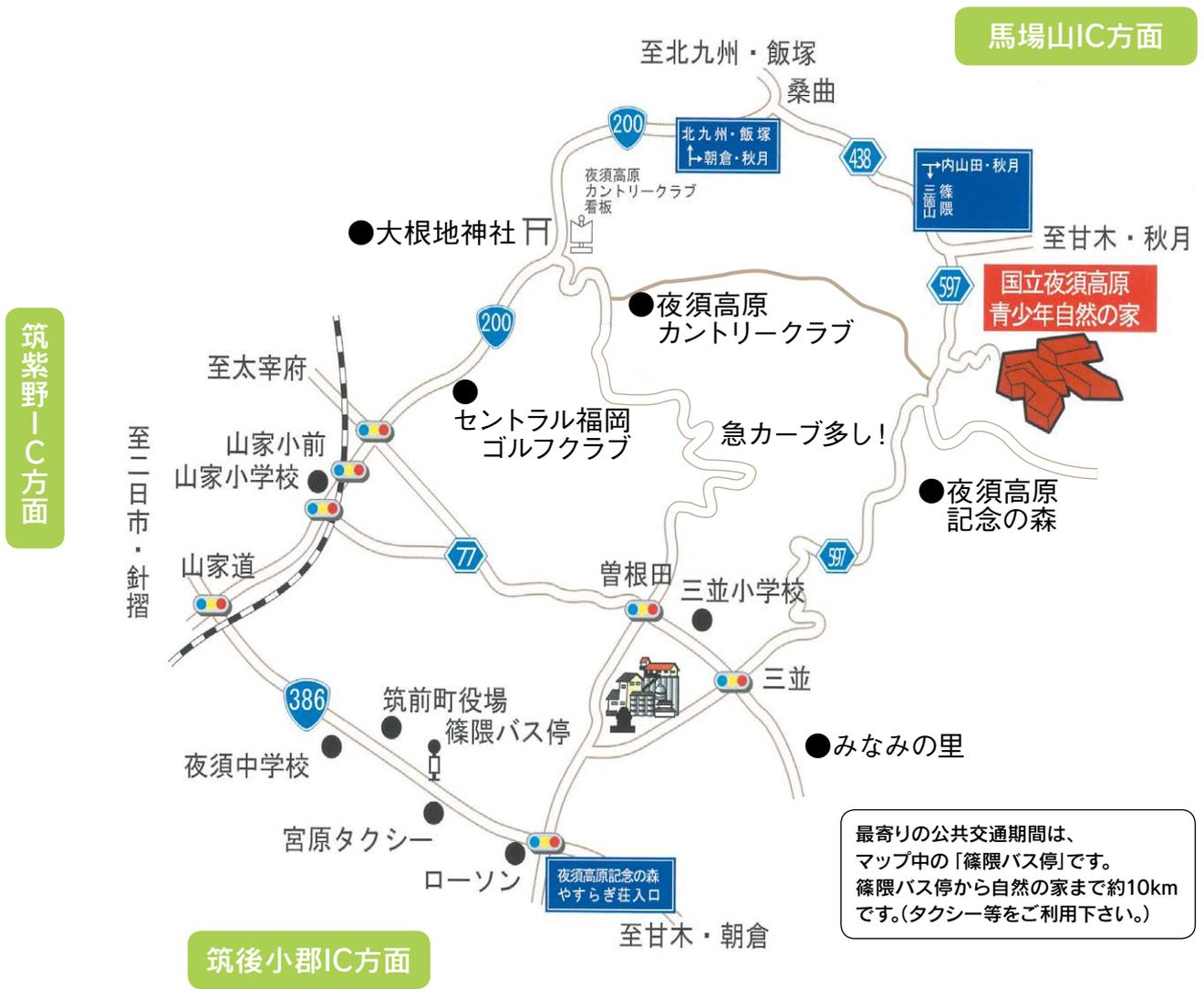


3. 地域別利用者数

地 域	利用者数(人)	構成比(%)
福岡県	104,594	92.62
佐賀県	6,376	5.65
長崎県	51	0.05
熊本県	116	0.10
大分県	389	0.34
宮崎県	46	0.04
鹿児島県	80	0.07
その他	1,277	1.13
計	112,929	100.00



アクセスマップ



アクセス

※福岡・大牟田からJR鹿児島本線二日市駅・西鉄大牟田線朝倉街道駅下車、西鉄バス「篠隈バス停」下車





国立夜須高原青少年自然の家は、
「早寝早起朝ごはん」
国民運動に参加しています。

「早寝早起朝ごはん」国民運動とは…

- ・学習意欲・体力・気力の向上を図る
- ・望ましい基本的な生活習慣を育成
- ・生活リズムの重要性を再認識
- ・地域ぐるみで支援するための環境設備など
地域社会、学校、家庭が一体となって、
心身共に健康な子供たちの育成をめざします。
詳しくは「早寝早起朝ごはん」全国協議会の
ホームページをご覧ください。
<http://www.hayanehayaoki.jp/>



国立夜須高原青少年自然の家は、
「体験の風をおこそう」
運動を推進しています。

「体験の風をおこそう」運動とは…

近年、社会が豊かで便利になる中で、子どもたちの自然体験、
社会体験、生活体験などの体験が減少している状況を踏まえ、
子どもたちの健やかな成長にとって体験がいかに重要であるか
を広く家庭や社会に伝え、社会全体で体験活動を推進する機運
を高める運動です。

詳しくは「体験の風をおこそう」運動の
ホームページをご覧ください。
<https://taikennokaze.jp>



～満天の星 夜須高原～

独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立夜須高原青少年自然の家

〒838-0202 福岡県朝倉郡筑前町三箇山1103

TEL:0946-42-5811 FAX:0946-42-5880

E-Mail:yasu-jigyoku@niye.go.jp HP:<http://yasu.niye.go.jp/>

